

具体派は帰納法で
抽象派は演繹法



20231217



エリー



目次

感想	1
----------	---

感想

「具体⇄抽象」トレーニング 思考力が飛躍的にアップする 29 問 (PHP ビジネス新書)(細谷功)
を第 5 章まで読んだ感想。

学校の勉強のように、正解があって、全体を俯瞰できる場合、中味を分類して、テーマに沿った分類を詰めていくことになる。

テストで高得点を取るタイプだ。

対して、全体も規則性も見えず、具体的な経験を数こなすなかで、長期間かかってパターンを理解する帰納法タイプがいる。

よくわからないまま頑張らないといけないので、挫折しがちだ。

ところが、社会に出ると「既に抽象化され、全体がみえてること」はほとんどない。

自ら法則を導き出す必要が出てくる。

ここで具体派の帰納法が、抽象派の演繹法を追い抜く。

たとえば、A、B、C という異なる希望がある。テーマを定めると相互に矛盾するため、抽象派は「なにを選ぶか？」を迷う。

だが、実践から法則性を学んだ具体派は、A、B、Cから共通点を見つけて、それをテーマとする。

例えるなら、六法全書を読み、骨格を理解して、個別の法律を理解した秀才タイプが、抽象派だ。

彼らは一度で試験に受かるだろう。

だが、複合的な問題の処理がわからない。

反対に、何年も浪人して、凡例を読みまくり、そこから法律には書かれてない法則を体感した人は、実践に強い。

だが、大器晩成だ。不遇時代が長く、諦めないことが問われる。

わたし自身は、具体派の帰納法タイプで、大器晩成だ。

諦めないで続けたから、個別の事象から、共通点を言えるようになった。

どんくさくても、周りが分かっていることが分からなくても、「分かる日が来る」と信じて鍛練を積み重ねること。

そういう人間関係が、わたしにとっての楽園で、「かまどのめし」のテーマだ。

どんくさい方は、村でしか生きられない。だから街の人の考えが書けなかった。

でも違いに気づいた今、書けそうな気がする。

具体派は帰納法で抽象派は演繹法20231217

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
